

令和7年度第4回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録

日時：令和7年12月2日（火）14時00分～

場所：宗像市役所 北館 2階 204会議室

出席者

(敬称略、五十音順)

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
石橋 文恵	出	石山 さゆり	出	魚住 由佳理	出
岡山 元生	出	小森 雅子	欠	藤谷 明美	出
水田 尚文	出	山田 雄三	出		

○委員
●事務局

1 はじめのあいさつ

宗像市男女共同参画推進懇話会 会長 石山さゆり

2 議事録署名人選出

○議事録署名人 : 魚住委員

3 議事

(1) 第4次宗像市男女共同参画プラン（案）について【資料1～3】

●第2回の結果を踏まえて修正を行った。新たに資料編として関係法令等を追加している。主な変更点は、以下のとおり。

- ・ (P10) グラフの中に、宗像市のデータというのが分かるように追加。
- ・ (P11以降) グラフに説明があったほうが分かりやすいとのご意見を頂いたが、事実は事実として掲載し、文章の強調したい部分を太字の色つきに修正。
- ・ (P39以降) 「取り組みの方向性」について、対象や目的が分かるような形で文章を修正。
- ・ (P40以降) 「数値目標」については、基本的には過去の伸び率で計算。上昇傾向にないものについては、過去の最大値に戻していくことを目標としている。社会情勢等で自然に上がっていく部分もあると考えプラスして設定している。
- ・ (P43) 働く女性の健康支援体制については、働く環境に関わるため (22) ではなく (12) に追加。(13) では、働きたいという女性を支援する際に「むなぼーと」との連携に力をいれていくことを踏まえて文章を追加。
- ・ (P44) 市が持っていない福岡県のデータ等を参考資料として追加。
- ・ (P45) 介護保険事業計画策定のためのニーズ調査結果を参考として掲載。介護者として女性が多いというのが分かる。
- ・ (P48) 国の表現にあわせて「性犯罪・性暴力」の表現に修正。
- ・ (P49) DV等の被害にあったときに相談したか、相談しなかった理由はという県の調査結果について参考資料として掲載。

●計画全体の分量が多くなっているため、関心がない方にも手にとっていただけるよう、P7からP31までの内容は資料編に移し、計画本編自体を少しスリムにしたい。

●今後の進行管理は資料3にたたき台を示している。詳細は第5回以降で詰めていきたい。

●本日の協議でプラン案を固めたい。1月の20日から2月19日にパブリック・コメント実施予定。本日の協議を踏まえて事務局で修正を行う。後日、会長・副会長調整のうえ、委員に最終案を提示する。懇話会として会長から答申をいただく手続きを取らせていただきたい。

○6ページの後に32ページがくる形になる。3次プランの振り返りは何ページ目といったような、分かるような形で掲載していただきたい。

○3次プランの振り返りや意識調査の結果を踏まえた流れでの「現状と課題」になっている。意識調査の集約を掲載するという形はとれないか。

●どのような形であれば市民に手に取っていただけるのかということを含めて検討する。

○「地域社会における参画拡大」でいうと、これが何を目的にしているのかが分かりづらい。例えば、社会参加の促進と支援というのは、通常はコミュニティ部門がやることであって、男女共同参画の視点を踏まえた地域活動の推進という事業をこのプランではやるのではないか。取り組みの方向性(7)(8)では、男性も女性も重要で、参画を促進しましょうという以上のことが書いていないから、特に何をするのかなど感じる。全体の見出しも「地域社会における参画拡大」となっており、主語というか、誰が参画拡大するのかみたいところが、ちょっと説明がつかない。この局面で言えば大きな変更になるため、どう修正をかけるか検討が必要。

○男女共同参画の視点を持った地域活動を支援するというのが、ここで本来位置づけるべきものではないかと思う。

○実際に自治会長に女性が推薦されても断るとするのがすごく多いと聞く。そういった事を男女共同参画の視点でどの様に表現していけば良いのかが気になっている。

○(9)では、女性役員登用のところに「役員の業務負担軽減に取り組むとともに」が入っているが、これもコミュニティ部門の取組であって「意思決定過程への女性の参画を促します」で良いのではないか。コミュニティ施策が中心になり、男女共同参画プランで本来やるべきことから少し遠のいてしまっていると感じる。

●女性が自治会長をどうして断るのかというところで、市民意識調査の結果では回答の一つに責任が重たいという話もあった。そこを、働きながらとか、女性が子育てしながらとかでもできるというかたちを作っていく意味合いを入れたいと考えてこのような表現にしている。

○そのような背景があるなら、「女性が参画しやすい環境整備を支援する」みたいな感じで進めた方が良い。

○結局、家庭におけるワーク・ライフ・バランスが進んでいないので、家庭のこともしないといけない、地域の役職もしないといけないというのは、本当にできるのかというのもある。

●女性の働く場での活躍を促進しようと思ったら、男性の家庭参画を同時に進めていかないと、望む選択ができない。そのことを45ページのワーク・ライフ・バランスの所に追加している。

●(8)については、男性女性以外の、要するに新たな考え方を含めたところで、今回はジェンダー

平等社会の考え方も踏まえて「多様な」という言葉を使っている。どんな人でも認め合う社会をつくり上げていく中では、少数の意見を切り捨てるのではなく色々な意見を取り入れながらやっていたかなくてはならない、という切り口も入れながら、(7)(8)は検討させていただきたい。

○今までは、70歳代のシニア男性を中心に地域づくりを頑張ってきていると思う。ここに女性の視点をどう入れていくか。避難所を作るときに女性の視点がないとか、子供の視点が必要になってくるとか、地域活動にどう多様な視点を取り入れて、フラットな関係で地域をつくっていくことが重要で、それを推進する計画の内容になっていけば問題ない。

○ある程度女性が進出をしてきている状況の中で発展していくものもあるが、まだまだそこまで女性が行き着いていない現状があるのでもどかしい。

●(7)(8)のように、地域の中において、男性も女性も誰も手を挙げない状況という考え方の中で、我々としても苦勞した形での表現になっている。一方で、男女共同参画で社会をつくっていくところのポイントは、やはりちりばめないといけないと思っている。この部分は事務局で修正し、最終調整させていただきたい。

○32ページの現状と課題で、1番上にある「女性自治会長」の割合がなかなか上がってこないというところで、ここは「依然として」低い現状があるという意味ではないか。

●表現を変更する。

○そもそも目標値とは何かと考えたときに、必ず達成するというものなのか、概ねこの辺りを目標にして進めていきたいと思いますというものなのかで捉え方が大分違う。こういう形で設定していますというようなことをきちんと書かれたほうが良いのではないか。

○ほかのプランや計画を策定するときにもそこまで書き込まれているのか。

●計画にもよるが、あまり細かくは記載していない。

○これは庁内で同じ認識なのか。担当者が変わったときに、思いが伝わっていくのかという点が気になっている。

●関係課にヒアリングや調整を行っており、庁内で協議した上で作成している。

●今回の数値の設定は、基本的には過去の経年変化を見ながら直線式で求めている。一方で、下がっているものについては、過去の最大値にプラスして設定している。

○進行管理については、やったことと成果報告が分かれており、これだけでも大きな変化である。成果の報告をするにあたって、色々な分析方法があるので検討させていただきたい。よくあるのはKPT分析。結果だけじゃなくて課題をしっかりと書く必要がある。また、成果報告をするにあたって、例えば「男女社会参画の促進と支援」というときに、これは男女両方の地域の担い手が何人増えたかを目指すものなのか、地域でどの様に男女共同参画を推進する取組なのか、何を実現しようとしているのかがクリアになっていなかったら、分析のしようがない。

●ご意見を踏まえて実施方法を考えたい。

○市民に対して、どの程度成果が広がっているかが分かっていくようなものがあると良い。

○34ページ目の「宗像市が目指す姿」を前面に出したい。これがまずあって、それはなぜこうなったみたい紐解いていくかたちはどうか。

●目指す姿が前面に出るよう構成を修正する。

○44ページの「労働者の活躍推進」のところに「育児休業制度の利用状況」の表があるのはどういった意図か。

●労働者、特に女性が働きやすい環境を考えたときに、男性も育児休業をとれるようになった方がよいという視点で、育児休業制度の利用状況を参考として追加した。

○これだけ見るとすごく良くなったように感じる。ただ、実際に何日取得したといったときに、1日でも取ったら取得した方に入ってしまう。

●確かにこの資料では、制度として1日でも取ったらという結果になっている。一方で、今まで意識しなかった男性も育児休暇をとるようになったという考え方で、社会的な感覚の変化は進んでいると感じている。ただ、これに対してはまだ課題があるということは十分我々も認識した上で、これからどんどん推進していくという見せ方で今回は掲載している。

○育児休業については次の45ページに「子育て介護支援の充実」で出てくるため、施策の最後にとってくる方がよい。

○41ページの「審議会等委員への女性の参画促進」の「課題を踏まえた働きかけを行います」という表現について、前は「女性の登用を進めます」と結構具体的に書いていたのが変わっている。この計画の主体は宗像市であるので「促します」といった表現にした方がよいのではないか。

○「防災・災害時における男女共同参画の推進」について、重要でありながら表現が少し曖昧に感じる。「地域での活動」がどういうものを指すのか。一般的には、男女共同参画の視点を持って、地域防災が実施される状況をつくるということだと思うが、自主防災や地域での防災活動とかそういうのが全部含まれるのか。後半の文章では、「避難所運営に関して男女共同参画の視点を取り入れる大切さについて市民への啓発を行います」も、やや引いて啓発という手段にとどまっている。最終的には、男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営や防災が行われる状況をつくるということが明確に示されればよい。

●ご意見を踏まえて文章を見直し修正する。

●本日頂いたご意見を踏まえて、事務局のほうで検討・修正させていただく。会長・副会長とも調整をさせていただいて、最終的な案を委員に提示するとともに、会長から答申というかたちで提出していただく予定である。

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

魚任由佳理
